
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成18年8月17日

八 代 海 No.5

[1] 8月16日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点で赤潮による着色域は確認されませんでした。

有害種については、コックロディニウム ポリクリコイデスを脇崎沖において6細胞/ml確認しました。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で27.6～30.5℃で同年同時期より高め、塩分は28.8～30.0で同年同時期より低め、透明度は同年同時期並となっています。

水 温（表層）：平均 29.0℃ (27.4℃)

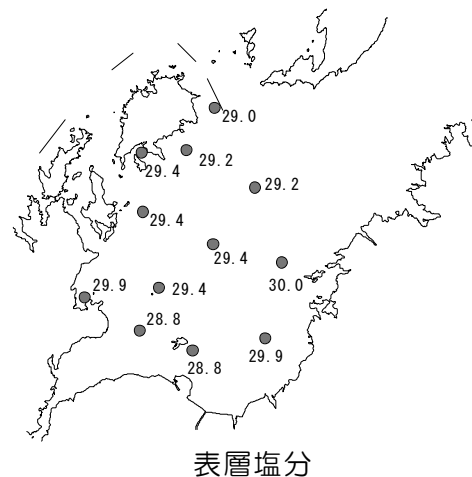
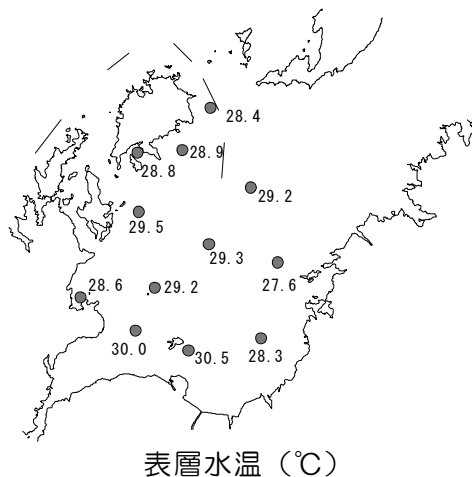
塩 分（表層）：平均 29.4 (31.6)

透明度 : 平均 8.0m (8.0m)

()はH元～H17年8月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

1カ所の調査点で有害種が確認されていますが、現時点では細胞数が少なく、珪藻類が多い状況ですので、今後しばらくの間は、有害種による赤潮形成の可能性は低いと考えられます。



赤潮情報(携 帯 用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン 用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>